

シラバス (介護職員基礎研修)

指定番号 _____ 課程 介護職員基礎研修課程

法人・団体名 株式会社 松島紙店

課程編成責任者 小又幸成

研修区分 標準型(500時間) 実習免除型(300時間) 科目免除型(I)(200時間) 科目実習免除型(I)(60時間)

科目免除型(II)(350時間) 科目実習免除型(II)(150時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーションと介護技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の考え方、視点を理解する、介護技術のスキルアップを図る。 ・利用者や家族とのコミュニケーション、関係作り、心のケアのための基礎的態度を習得する。 ・介護予防の考え方と方法を習得する。 ・福祉用具、住宅改修について理解する。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の考え方・視点	6	6	0	<p>《目標》基本的な介護技術について、理論を踏まえた上で、それを応用して自立支援の視点で介護できる。 心身機能の低下に沿った介護方法の事例や理論を踏まえた上でそれを応用して、自立支援の視点で介護を展開できる。 「寄り添う」ケア「黒子として支える」ケアと、必要なケアを行わない「放任」ケアの違いを説明できる。 ターミナルにおける心理的な変化、死の受容について説明できる。</p> <p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における介護の現状 ・高齢化に伴う介護ニーズの増大・介護技術を学ぶ必要性
② コミュニケーションと信頼関係形成の基礎的理解	6	6	0	<p>《目標》利用者の心身の状態やありのままの生活を理解し、介護過程に沿って尊厳を支える介護を展開できる。 共感、受容、傾聴的態度、気づきなど基本的なコミュニケーション上のポイントと技法について、事例に基づいて説明できる。</p> <p>《講義内容》・コミュニケーションを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者を理解する・自己を理解する。 ・信頼関係を築くための基本姿勢 ・適切なコミュニケーションのための面接技術 ・コミュニケーションと信頼関係
③ 介護技術	6	6	0	<p>《目標》高齢者、障害者(児)の心理的特徴について、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目して概説できる。</p> <p>《講義内容》・高齢者とその家族の心の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児(者)とその家族の心理的理解 ・心のケアの基礎
④ 基礎的介護技術の習得保有能力の向上・活用・維持を図る介護技術の習得	78	78	0	<p>《目標》適切なコミュニケーションに基づく利用者との協働によって介護を展開できる。 要介護度の変化に沿った基本的な介護技術(方法)を、事例に基づいて説明できる。 高齢者に多い障害の特性を理解し、基本的な介護方法(対応)を、事例に基づいて説明できる。</p> <p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の介護 ・排泄、尿失禁の介護 ・移動、歩行の介護 ・睡眠(バッドメーキング)、夜間の介護 ・入浴、清潔の介護 ・衣服の着脱の介護 <p>《演習の実施方法》 教室内でのロールプレイにより、用具類を使用し演習</p>

⑤ 介護予防の理解と方法の基礎的理解	6	6	0	《目的》介護予防の考え方と方法を理解し、利用者の状況に応じて実践できる。 《講義の内容》 ・生活の中の介護予防 ・介護予防プログラム
⑥ 福祉用具の活用と住宅改修の基礎的理解	6	6	0	《目的》福祉用具、住宅改修等についての知識を持ち、利用者の生活を支えるという視点から、チームの中で助言や提案ができる。在宅の生活における福祉用具・住宅改修の意義について説明できる。主な福祉用具の種類を上げ、その活用法について説明できる。住宅改修の基本的な考えや具体的方法、配慮点等について、高齢者の障害の種類や程度、行動特性などに着目して説明できる。 《講義の内容》・在宅生活と福祉用具、住宅改修の意義 ・福祉用具と住宅改修の基礎
修了評価				
(合計時間数)	108	108		

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ いくつかの項目をまとめて、時間数を設定しても差し支えない。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙4に定める時間以内とすること。
- ※ 通信学習を実施する項目については、**通信学習課題**を提示すること。(既に提示したものを除く。)